証券コード:8252

















株式会社丸井グループ **第79期 中間報告書**

平成26年4月1日 — 平成26年9月30日





www.0101maruigroup.co.jp



小売、カード、小売関連サービスの3事業を通して 「若々しいマインドを持つすべての人のライフ スタイルを応援する」企業グループです。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

平成26年12月

双締役社長 **井** 井

経営成績に関する説明

当第2四半期は、政府の経済政策や日銀の金融政策などにより、企業収益や雇用情勢に改善が見られ景気は緩やかな回復基調となりました。一方、消費税率引上げによる駆け込み需要の反動に加え、円安に伴う物価上昇や夏場の天候不順の影響などを受け、個人消費については回復に弱さが見られ、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループでは3カ年の中期経営計画をスタートし、平成28年度の連結営業利益360億円以上、営業利益率11%以上、ROE6%以上を目標に企業価値向上をはかってまいります。各事業においては、中期経営計画初年度にあたり収益力強化に向けた取組みをすすめております。

この結果、当第2四半期の連結売上高は1,936億87百万円(前年同期比1.1%減)、売上総利益は、カード事業が好調に推移し773億63百万円(同4.5%増)、営業利益は104億61百万円(同2.4%減)、経常利益は104億98百万円(同5.2%減)、四半期純利益は58億91百万円(同4.1%減)となりました。

【小売・店舗事業】

少子高齢化や、消費者ニーズがモノからコト・サービスへ 大きく変化するなかで、小売・店舗事業では、これまでの若 者・衣料品を中心とした商売の見直しをすすめ、年代を越え た幅広いお客さまのライフスタイルに対応したカテゴリーの 充実により、客数の拡大をめざしております。

店づくりでは、定期借家契約によるテナントと競争力のある自主売場が融合する、丸井独自のショッピングセンター(SC)型店舗への転換をすすめております。

その第一弾として、5月に初のSC型店舗となる「町田マルイ」をリニューアルオープンいたしました。地域のお客さまの声を取り入れ「雑貨」や「カフェ」「食」のカテゴリーを強化したことで客層が拡がり、オープン以降の客数は前年同期の約2.5倍となりました。

今後はSC型店舗への転換を、全館改装や売場区画ごとの 改装など、店舗の状況に応じた最適な手法により全店へ順次 拡大してまいります。

また、平成28年春に九州初出店となる博多新店については、店づくりやモノづくりに直接ご参加いただけるお客さまを募集し、企画会議やアンケートを通じて、理想の店・商品づくりに向けた取組みを着実にすすめております。

商品面では、お客さまと一緒に開発した新PB商品、なかでもレディスシューズが好調に推移いたしました。より多くのお客さまにモノづくりにご参加いただけるよう、ネット通販の

サイト内に開設した「シューズLABO」では、全国からのべ5万人のお客さまにご参加いただき、「モノづくりアンケート」をもとに商品開発をすすめております。

テレビCMと連動して売場での訴求を強化した、新モデルの「ラクチンきれいパンプス」は認知度も高まり、9月の発売から1ヵ月間の販売点数が3万足を超えるヒット商品となりました。平成22年にデビューした「ラクチンきれいパンプス」は累計で150万足に迫る大型商品となりました。

このような取組みにより、新PB商品の売上は、前年の1.2倍と、順調に拡大いたしました。

しかしながら、消費税率引上げにともなう駆け込み需要の反動や、閉鎖店の影響などにより、売上高は1,462億96百万円(前年同期比5.0%減)、また改装投資による減価償却費の増加もあり、営業利益は21億15百万円(同27.7%減)となりました。

【カード事業】

カード事業では、カード会員の拡大とお得意さまづくりに よるご利用額の拡大を着実にすすめ、事業基盤の強化に取 組みました。

カード会員の拡大では、丸井店舗での募集に加え、企業 や施設との提携カード、ファンクラブカードなどの新たな募 集チャネルを積極的に開拓するとともに、ネットからの入会 も強化し、着実に全国展開をすすめてまいりました。

具体的には、7月より国内最大級のテーマパークを運営するハウステンボス株式会社さまと施設内で割引や特典がご利用いただける「ハウステンボスエポスカード」の発行を開始し、また、アイディアファクトリー株式会社さまとはゲームソフトのファンに向けた「オトメイトエポスカード」を発行いたしました。

さらに8月には、グループ会社の㈱エイムクリエイツが運営管理を受託する千葉県の商業施設「MONA新浦安」にて、初の商業施設カード「MONAエポスカード」の発行を開始いたしました。会員向けの優待セールやポイント付与による施設の集客や売上増への貢献など、施設とカードの相乗効果が出てまいりました。今後も様々なチャネルを開拓し、独自

の提携カード「コラボレーションカード」を拡大してまいります。

また、ネットからの入会は、全国規模のテレビCMに加え、入会申込み専用アプリの提供や丸井店頭でのカード受取りサービスの開始などにより、順調に拡大いたしました。

このような取組みにより、丸井店舗外での入会が前年同期の1.4倍と新規会員の2割を占めるまでに拡大し、カード会員数は前年同期比10%増の568万人となりました。

お得意さまづくりでは、支払照会やお得なキャンペーンに 簡単にアクセスいただける「エポスカード公式アプリ」の配信 開始や、ゴールドカード会員向けに人気公演や宿泊施設の 会員優待を充実するなど、サービスの向上に努めてまいりま した。

以上の結果、外部加盟店でのショッピングクレジットのご利用額は前年同期比23%増と引き続き高伸長いたしました。

キャッシングにつきましては、取扱高が前年同期比11%増となり、昨年増加に転じた営業貸付金残高は1,279億1百万円(前年同期比3.4%増)と着実に拡大いたしました。

さらに、家賃保証や銀行ローン保証などの関連ビジネスについても順調に拡大したことから、カード事業の売上高は353億62百万円(前年同期比19.7%増)、営業利益は88億50百万円(同16.9%増)と3期連続の増収増益となりました。

【小売関連サービス事業】

小売関連サービス事業では、システム関連の受注拡大などにより、売上高は276億35百万円(前年同期比1.6%増)となりましたが、前年に内装工事の大口受注があったことなどにより、営業利益は14億43百万円(同29.1%減)と増収減益となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、1株当たり9円とさせていただき、期末配当は1株当たり10円、年間配当は前期と比べて1円増配の19円を予定しております。株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

CLOSE UP 中期経営計画に基づいた事業ごとの取組み

平成28年度を最終年度とする3カ年の中期経営計画に基づき、各事業ごとに取組みをすすめております。 その取組みに関しまして、事業ごとのポイントをご紹介いたします。

小売・店舗事業

お客さまニーズと収益の向上が両立するビジネスモデルへの転換をすすめます。

- 百貨店型からショッピングセンター(SC)型への転換を推進、平成30年度までに全店舗のSC化の完了をめざ してまいります
- 博多のマルイは平成28年春の開店に向けて、お客さまと一緒に店づくり・モノづくりをすすめてまいります
- ○SC型の新しい「マルイ」と、狭商圏での出店が可能なSC「モディ」の2つのストアブランドで新たな出店戦略 を展開してまいります

カード事業

全国展開を推進し、さらなる収益の拡大をはかります。

- 「会員数の拡大」と「利用率の向上」で高度成長をめざしてまいります。
- 新規提携先を拡大し、全国展開をすすめマルイ店舗外発行数を拡大してまいります。
- インターネットと店舗を活用した会員増と利用率の向上をめざしてまいります。

多様性を活かし、活力があり、生産性が高く、革新を起こしやすい組織を確立します。

- グループ各社間の人事異動を積極的に実施し、組織の活性化をすすめてまいります。
- 意思決定の場への参画など、女性社員・若手社員への権限委譲をすすめてまいります。
- 男性の育児参加を促進し、男女問わず生涯を通じて活躍できる環境づくりをすすめてまいります

中期経営計画の取組みにより(最終年度の平成28年度には) 営業利益360億円以上、営業利益率11%以上、ROE6%以上を達成

さらなる企業価値の向上に向け、利益成長に財務戦略を組み合わせ ROEの早期向上をめざしてまいります

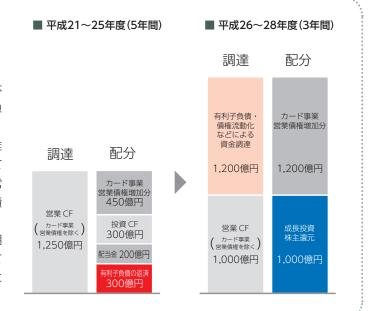


ROEの向上に向けた 資金の有効活用について

昨年度までの直近5年間は、収益力回復と財務体質の健全化を基本とした財務戦略を展開し有利子負債を抑制してまいりました。

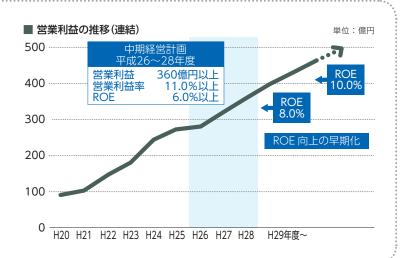
次のステップとして、今後は、財務の健全性を維持しつつ、ROE向上をめざす財務戦略にシフトしてまいります。今後カード事業の成長により増加する営業債権の増加につきましては、有利子負債やリボ債権の流動化などによる資金調達にて対応いたします。

そして、今後3年間にわたる当社グループの中期 経営計画期間の営業キャッシュフローにつきまして は、すべて成長に向けた投資と株主さまへの還元に 配分する予定です。



今後の成長戦略

今後は、利益成長に財務戦略を組み合わせることで、中期経営計画の期間内に目標であるROE6%を早期に達成し、それ以降につきましてもさらに8%、10%と早期の向上をめざしてまいります。



小売・店舗事業

お客さま共同開発の「ラクチン」シリーズ レディスシューズは累計販売数150万足を突破

より多くのお客さまにマルイのモノづくりにご参加いただくため平成26年5月、ネット通販サイト内に「シューズLABO」を開設。これまでに全国から5万人以上のお客さまがご参加、商品開発がさらに進化いたしました。その中から誕生した「新ラクチンきれいパンプス」が大変ご好評をいただき、想定を上回る大ヒット。レディスシューズの「ラクチン」シリーズはおかげさまで累計販売数150万足を突破。このような取組みの結果、新PB商品は前年に対し1.2倍の売上と、順調に拡大しています。





「シューズLABOL

博多駅前のマルイは平成28年春の開店に向けて お客さまと一緒に店づくりをすすめています。

平成28年春に開店予定の博多店(仮称)では、お客さまとともに店づくりをすすめるため、7月上旬に「ファンサイト」を開設。ご登録いただいた500名以上のお客さまから、企画会議やWebアンケートを通じて多数のご意見をいただきながら、店づくり、モノづくりをすすめております。今後もお客さまと一緒にこの取組みを継続してまいります。



日本郵便株式会社さまご提供











カード事業

全国展開を着実にすすめ、会員数は568万人に拡大

企業や施設との提携カード、ファンクラブカードなどの新たな募集チャネルを積極的に開拓

平成20年よりスタートしたコラボレーション カードは、協業先が12社に拡大。7月より「ハ ウステンボスエポスカード」、ゲームソフトの ファンに向けた「オトメイトエポスカード」、10 月には「ビッグエコーエポスカード」の発行がス タートしました。

また、カードセンターの開設を伴う商業施設 カードについても、8月より「MONAエポスカー ド1、11月スタートの「させぼ五番街エポスカー ド」と、提携先を順調に拡大しています。

■ コラボレーションカードは提携先が続々と拡大





「コラボレーションカードとは?」

一般的な「提携カード」とは異なり、エポスカードは、各提携先が提供する特典をすべてのエポスカード会員が受けられることにより、提携 先における新規客の獲得、利用拡大をはかります。一方、提携先各社は、それぞれの顧客に対しカード会員を募集。相互に送客をはかり ます。お客さまは1枚のエポスカードがあれば提携先各社が提供する特典をすべて利用でき、利便性が向上します。

各種サービスを充実させカード会員さまの利便性を向上

各種サービスの開始により、インターネットからのご入会も順調に拡大い たしました。丸井店頭でのカード受取りサービスの開始や安心サービスの充 実などにより、お客さまの利便性が向上。また、お得意さまづくりでは、支 払照会やお得なキャンペーンに簡単にアクセスいただける「エポスカード公 式アプリーの配信開始や、ゴールドカード会員に向けた人気公演や宿泊施設 の会員優待を充実するなど、サービスの向上をはかっております。



アプリ



小売関連サービス事業各社の主な取組み

丸井グループで培われたノウハウと専門性を活かした 企業向けのビジネスを展開。

新たな事業の創出と既存事業の競争力強化をめざします。

事業内容店舗内装、広告宣伝、ファッション物流受託、情報システムサービス、建物等の保守管理、不動産賃貸等

主要な事業会社 ㈱エイムクリエイツ、㈱ムービング、㈱エムアンドシーシステム、㈱マルイファシリティーズ、㈱マルイホームサービス

(株)エイムクリエイツ

<空間プロデュース・商業・広告事業> マルイ店舗のノウハウを活かし、空間をプロデュース





(株)ムービング <ファッション物流事業>

ファッション物流のノウハウを活かし外部事業を拡大



M&C SYSTEMS

㈱エムアンドシーシステム <情報システム事業>

データセンター事業を推進



MARUI FAOII ITIES

(株)マルイファシリティーズ

<総合ビルマネジメント事業>

おもてなしの心を大切にする フードコートオペレーションが好評



OIOI HOME SERVICE

㈱マルイホームサービス <不動産賃貸事業>

丸井グループの安心と信頼を ベースに、快適な住空間を提供



その他の丸井グループの取組み

お客さまと一緒に取組む環境・社会貢献活動の名称を 新しく「マルイミライ」とし、取組みを進化・深化







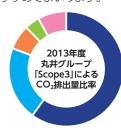


お客さまにご意見をおうかがいし、新たな取組みの名称やロゴが決定。 これまで取組んでまいりました「循環型ファッションの取組み」を「つながる プロジェクト POWER OF FASHIONIに、包装ニーズをおうかがいする 取組みを「ナチュラッピング」にそれぞれ改め、さらに「カーボンフットプリ ントーの取組みも加え、さまざまな活動について、より進化させながら取 組んでまいります。

「Scope3」による温室効果ガスの算定をスタート

当社グループでは、小売業界では先駆けとなる、「Scope3」(原材料の調 達から生産、廃棄にわたるサプライチェーン全体を範囲とする温室効果ガス (GHG)の排出量)の算定をスタートいたしました。

これまでにも企業活動と地球環境との調和をはかるため、省エネル ギー、省資源をはじめ環境保全に配慮した取組みをすすめてまいりました が、今後はGHG排出量について継続的に推移を確認し、削減への取組 みをすすめてまいります。



- 購入品・サービスによる排出 ………60% 仕入れ商品及びサービスの資源採取から製造までの排出
- 下流の輸送・配送による排出 ……21% お客さまの移動に伴う排出など
- 設備投資による排出 …… 7%
- 販売した製品の使用による排出 …… 4%
- 燃料調達やリース資産等その他の排出・・・ 8%

「イクメン企業アワード2014」 特別奨励賞を受賞

「イクメン企業アワード」と は、厚牛労働省が主催する、 男性労働者の育児参加を積 極的に促進しつつ、業務改 善をすすめる企業を表彰す る制度です。



今回の受賞は、「業務の見直しやマルチタスク化 による業務効率化しや「全社的な所定外労働時間の 削減1、また「有休取得率の向上」、さらには「短期 育児休業制度の導入と男性取得者の大幅増加」な ど、当社グループ全体ですすめてまいりましたワー クライフバランスへの取組みが評価されたものと 考えております。

今後も引き続き、男女問わずイキイキと働ける 職場環境づくりをめざしてまいります。

小売業界初となる2カ所目の認定! 新宿マルイ 本館の英国様式庭園 「Q-COURT(キューコート)」が 「2014都市のオアシス」に認定

新宿マルイ 本館の英 国様式庭園「Q-COURT (キューコート))が、快適 で魅力ある街並みを演 出する緑地環境「SEGES (シージェス) (社会・環 境貢献緑地評価システ



ム) 2014都市のオアシス (主催:公益財団法人都 市緑化機構)に認定されました。昨年の中野マルイ 「四季の庭・水辺の庭」に引き続き2カ所目の認定 は、小売業界では初となります。

連結貸借対照表

建 帕貝旧/3/赤纹	単位・日/		
科目	当第2四半期 平成26年9月30日現在	前期末増減	
〔資産の部〕			
流動資産	413,602	△ 940	
固定資産	250,461	+ 985	
有形固定資産	175,948	+ 883	
無形固定資産	6,279	△ 345	
投資その他の資産	68,233	+ 447	
資産合計	664,064	+ 44	
〔負債の部〕			
流動負債	143,568	△ 26,171	
固定負債	199,667	+ 21,277	
負債合計	343,235	△ 4,894	
〔純資産の部〕			
株主資本	313,133	+ 3,463	
資本金	35,920	_	
資本剰余金	91,307	_	
利益剰余金	239,695	+ 3,421	
自己株式	△ 53,790	+ 42	
その他の包括利益累計額	7,274	+ 1,498	
新株予約権	14	△ 25	
少数株主持分	405	+ 2	
純資産合計	320,828	+ 4,939	
負債純資産合計	664,064	+ 44	

理結キャッシュ・ノロー	単位:百万円	
科目	当第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	前年同期増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,566	+ 24,331
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,039	△ 2,769
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,692	△ 23,324
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,888	△ 1,639

連結損益計算書

単位:百万円

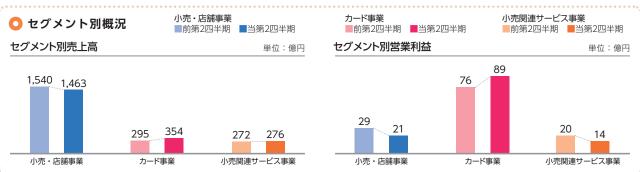
連結損益計算書		単位:百万円
科目	当第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	前年同期比
売上高	193,687	98.9%
売上原価	116,323	95.4%
売上総利益	77,363	104.5%
販売費及び一般管理費	66,902	105.6%
営業利益	10,461	97.6%
営業外収益	1,190	82.5%
営業外費用	1,154	106.4%
経常利益	10,498	94.8%
特別損失	829	109.0%
税金等調整前四半期純利益	9,668	93.7%
法人税等	3,766	90.5%
少数株主利益	10	122.2%
四半期純利益	5,891	95.9%

ポイント

	当第2四半期	前期末増減
割賦売掛金(百万円)	211,182	△ 2,283
(流動化債権を含む)	(274,508)	(+ 15,042)
営業貸付金 (百万円)	127,901	+ 2,686
有利子負債(百万円)	263,833	△ 990
自己資本比率(%)	48.2	+ 0.6
1 株当たり純資産額(円)	1,170.25	+ 17.97
		前年同期増減
営業利益率(%)	5.4	△ 0.1
1 株当たり四半期純利益(円)	21.52	△ 0.92
1 株当たり中間配当金(円)	9.00	_







◯ 財務レポート

決算のポイントは?

小売・店舗事業や小売関連サービス事業が減益となりましたが、カード事業がカード会員数や加盟店取扱高の拡大により増収増益となった結果、グループ全体では売上高、利益ともに年初計画を達成することができました。

通期の見通しにつきましては、年初計画を据え置いております。

② 資産・負債の状況は?

総資産は、前期末に比べ44百万円増加しました。これは主に、投資有価証券が時価評価により22億円増加した一方、差入保証金が返還により14億円減少したことによるものです。一方、負債は48億円ほど減少いたしましたが、これは買掛金が減少したことなどによるものです。純資産は49億円増加、自己資本比率は48.2%となりました。

Q 1株当たり配当金は?

当社グループは配当金の目安を連結配 当性向30%以上とし、収益拡大に応じた、安定的、継続的な増配をめざしていきます。

当期の中間配当金につきましては、1 株当たり9円とさせていただき、期末配 当を1株当たり10円、年間配当は前期 と比べて1円増配の19円を予定しております。

会社情報 (平成26年9月30日現在)

会社概	发
-----	---

商 号 株式会社 丸井グループ 創 業 昭和6年2月17日 会 社 設 立 昭和12年3月30日 箵 本 金 359億20百万円 事業目的 小売・店舗事業、カード事業、小売関連 サービス事業をおこなうグループ会社の 経営計画・管理等 店 数 (マルイ) 関東を中心に、東海、関西に 24店舗 (モディ) 関東に3店舗 売 場 面 積 444,200㎡ 従 業 員 数 6,055名 (グループ合計) ※従業員数には、臨時従業員は含めておりません。

東京都中野区中野4丁月3番2号

役員

代表耳	又締	役社	長グル	ノープ作	弋表執行	役員		青井	浩
専務耳	又締	役専	務執行	行役員				佐藤	元彦
常務耳	又締	役常	務執行	行役員				中村	正雄
取	締		役					堀内光	七一郎
取	締		役					岡島	悦子
取締役	2執	行役	愪					若島	隆
取締役	2執	行役	愪					石井	友夫
取締役	2執	行役	愪					瀧元	俊和
取締役	2執	行役	愪					布施	成章
取締役	2執	行役	愪					佐々木	-
常 勤	監	査	役					向原	通隆
常 勤	監	査	役					角南	哲二
監	查		役					大江	忠
監	査		役					高木	武彦
執行役	溳		浅田	恭平		執行役員	Ę	小暮	芳明
執行役	溳		青野	真博		執行役員	Į	斉藤	義則
執行役	溳		伊藤	優子					

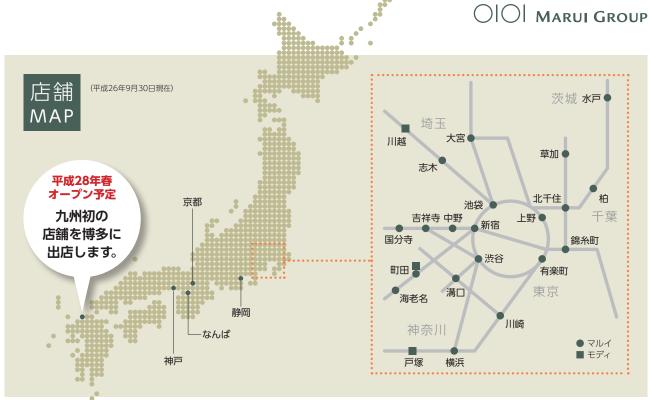
⁽注)取締役のうち堀内光一郎氏、岡島悦子氏は社外取締役、監査役のうち大江忠氏、高 木武彦氏は社外監査役です。

マルイ店舗ネットワーク

社 〒164-8701

マルイ	<u> 占</u> 調 イツトリ)ーク			
東京都	新宿マルイ 〒160-0022	新宿区新宿3-30-13	03(3354)0101	東京都	吉祥寺店 〒180-8552 武蔵野市吉祥寺南町1-7-1 0422(48)이이
	池袋マルイ 〒171-0021	豊島区西池袋3-28-13	03(3989)0101		町田マルイ 〒194-0013 町田市原町田6-1-6 042(728)이이
	渋谷店 〒150-0041	渋谷区神南1-21-3	03(3464)0101		国分寺マルイ 〒185-8562 国分寺市南町3-20-3 042(323)〇〇
	錦糸町店 〒130-0022	墨田区江東橋3-9-10	03(3635)0101	神奈川県	マルイシティ横浜 〒220-0011 横浜市西区高島2-19-12 045(451)이이
	上野マルイ 〒110-8502	台東区上野6-15-1	03(3833)0101		川崎店 〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-11 044(245)이이
	北千住マル 〒120-8501	イ 足立区千住3-92	03(5244)0101		マルイファミリー溝口 〒213-0001 川崎市高津区溝口1-4-1 044(814)이이
	有楽町マル・ 〒100-0006	イ 千代田区有楽町2-7-1	03(3212)0101		マルイファミリー海老名 〒243-0483 海老名市中央1-6-1 046(232)〇〇
	中野マルイ 〒164-0001	中野区中野3-34-28	03(3382)0101	埼玉県	大宮店 〒330-9501 さいたま市大宮区桜木町2-3 048(642)〇〇

本



埼玉県	草加マルイ 〒340-0015	草加市高砂2-9-1	048(922)0101
	マルイファミ 〒353-0004	: リー志木 志木市本町5-26-1	048(487)0101
千葉県	柏店 〒277-0005	柏市柏1-1-11	04(7163)0101
茨城県	水戸店 〒310-0015	水戸市宮町1-2-4	029(225)0101
静岡県	静岡店 〒420-0857	静岡市葵区御幸町6-10	054(252)0101
大阪府	なんばマル- 〒542-0076	〈 大阪市中央区難波3-8-9	06(6634)0101
兵庫県	神戸マルイ 〒650-0021	神戸市中央区三宮町1-7-2	078(334)0101
京都府	京都マルイ 〒600-8567 京都	3市下京区四条通河原町東入真町68	075(257)0101

福岡県 博多開店準備室

〒812-0023 福岡市博多区奈良屋町4-15 092(518)〇〇

レノコ	川메かりし		
	町田モディ 〒194-0013	町田市原町田6-2-6	042(812)2700
神奈川県	戸塚モディ 〒244-0003	横浜市戸塚区戸塚町10	045(862)0135
埼玉県	川越モディ		

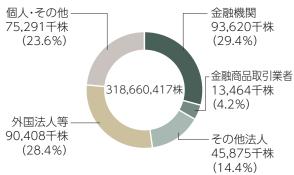
〒350-1122 川越市脇田町4-2

049(227)5950

株式の状況

発行可能株式総数	1,400,000,000株
発行済株式の総数	318,660,417株
株主数	25,665名

所有者別株式分布



※個人・その他には自己株式44.866千株が含まれております。

大株主の状況 (上位10位)

持株数 (千株)	持株比率 (%)
23,597	8.6
21,119	7.7
6,019	2.2
5,808	2.1
5,672	2.1
5,348	2.0
5,184	1.9
3,779	1.4
3,778	1.4
3,642	1.3
	(千株) 23,597 21,119 6,019 5,808 5,672 5,348 5,184 3,779 3,778

[※]持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主さまご優待制度のご案内

当社は、株主の皆さまの日頃のご支援に感謝申し上げ、株主さまご優待制度を設けております。

●「株主様ご優待カード」のお買物ご優待内容

1. 対象株主さま

毎年3月31日(当社期末) および毎年9月30日(中間期末)現在、100株(1単元)以上ご所有の株主さまに、「株主様ご優待カード」をお送りいたします。(年2回)



2. ご郵送時期・有効期限

対象株主さまの確定日	ご郵送時期	有効期限
9月30日現在の株主さま	同年12月上旬	翌年7月31日
3月31日現在の株主さま	同年6月下旬	翌年1月31日

3. ご優待の内容

マルイの各店舗・専門店・アウトレットおよび通信販売でのお買物をご利用限度額の範囲内で**10**%割引いたします。

ご利用方法

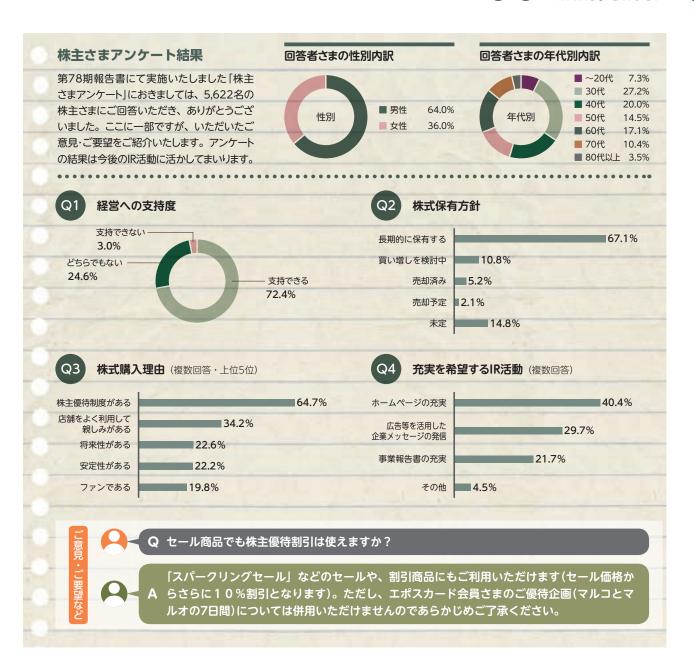
現金およびエポスカード、赤いカードによるお買物 に適用いたします。

※上記以外のクレジットカードによるお買物は、割引適用外となります。

ご利用限度額

「株主様ご優待カード」の有効期限までのお買物の ご利用限度額(10%割引が適用されるお買物の限 度額)をご所有株数に応じて設定させていただき ます。

※株主さまご優待制度の詳細は → http://www.0101maruigroup.co.jp/ir/bonus.html でご確認いただけます。



事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

配 当 基 準 日 期末配当金:3月31日

中間配当金:9月30日

単元株式数 100株

定時株主総会 毎年6月中

公告方法 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。

但し、やむを得ない事由によって電子公告による公 告をすることができない場合は、東京都において発

行する日本経済新聞に掲載しておこないます。 http://www.0101maruigroup.co.jp/ir/settlement.html

上場取引所 東京証券取引所市場第1部(貸借銘柄)

株主名簿管理人 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

(**同連絡先**) 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁月10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711

株式のお手続きについてのご注意

- ●株主さまの住所変更、買増・買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- ②特別□座の株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が□座管理機関となっておりますので、左記特別□座の□座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- ❸未受領の配当金につきましては、所定の期間に限り、 三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

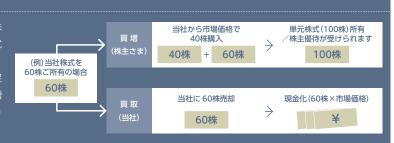
見通しに関する注意事項

本冊子に記載されている業績見通し等の将来に関する 記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であ ると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等 はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

▮ 単元未満株式の買増・買取制度のご案内

当社の単元株式数である100株に満たない株式(単元未満株式)につきましては、株主総会における議決権がなく、株式市場で売買できないなどの制約がございます。

当社では、単元未満株式をお持ちの株主さまが、100株に足りない数の株式を市場価格にて買増していただける制度(買増制度)および単元未満株式を当社へ売却する制度(買取制度)を設けておりますので、証券会社等にお問い合わせください。



株式会社丸井グループ

〒164-8701 東京都中野区中野4丁目3番2号 電話 03-3384-0101 (代表) http://www.0101maruigroup.co.jp







この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。